

# 結果報告

大会名	平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会				
競技日	12月25日(木)	試合番号	2-6	回戦	1回戦
種別	男子・ <b>女子</b>	会場	<b>枇杷島SC</b> ・愛知県体育館		
Aチーム			Bチーム		
三重バイオレットアイリス			大阪教育大学		
得点合計	小計		小計	得点合計	
25	13	前半	9	17	
	12	後半	8		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

## 【戦評】

記載者氏名

尾形 祐哉

試合は立ち上がりから三重バイオレットアイリスのサイドシュートやミドルシュートなどスピード感あるプレーが決まり、開始8分40秒までに9点を獲得した。たまたず大阪教育大学はタイムアウトを要求。そこから徐々に大教大のDFが機能し始めた。追い付きたい大教大は2番千葉のシュートや2回のペナルティースローで好機を得たが、三重の1番山根の好セーブもあり13対9、三重のリードで前半を終えた。後半は大教大優勢のスタート、速攻やロングシュートが決まる。しかし追い付きたい場面でパスやシュートのミスが続き、差は広がっていった。後半15分時点で21対12になった。その後は三重が大教大のミスを見逃さず、速攻を主に得点を重ねていった。大阪も離されまいと運動量を落とさず、サイドシュートなどで広がる差をそれ以上許さない。最終スコアは25対17。最後まで諦めない大阪教育大学と三重バイオレットアイリスのプライドがぶつかった好ゲームだった。